



2024 年(令和 6 年)

定時社員総会・理事会

第15期

2023年4月1日～2024年3月31日

日 時:2024年6月16日(日)

場 所:産経新聞社大阪本社8階会議室

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

2024年(令和6年) 一般社団法人日本ドラゴンボート協会

定時社員総会・理事会

○日 時 2024年6月16日(土) ・理事会:10時～ ・社員総会:、14時～

○場 所 産経新聞社大阪本社8階803会議室(大阪市浪速区湊町 2-1-57)

☆出席人数:合計55票(出席総数85票の内、理事:出席委任 15、終身会員:出席委任 7、都道府県協会:出席委任 6、AB 団体:出席委任 27)

※総数87票の内訳:理事16、終身10、A・B団体チーム49、所属協会12

○第1号議案

・2023年度事業報告、2023年度登録チーム報告

○第2号議案

・2023年度決算報告(承認事項)⇒承認

○第3号議案

・2023年会計監査、業務外部監査報告(田中豪会計監査)
・正味財産増減計算書との調整表の説明(壇税理士)
・財務諸表(壇税理士)

○第4号議案

・2024年度予算(承認事項)⇒承認

○第5号議案

・2023年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細報告

○第6号議案

・2024年度事業計画と日程議案

○第7号議案

・各専門委員会2023年度報告と2024年度方針(各専門委員会委員長より)

○第8号議案

・理事への謝金の承認について(総会承認事項)⇒承認
・安全委員会の「琵琶湖安全講習会」実施に伴う競技規則の改定(理事会・総会承認事項)⇒承認
・香港視察についての報告とCCWC誘致の有無(理事報告)
・2024年度海外大会参加予定について
・その他・ご質問

【第1号議案1】

2023 年度事業報告

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月末まで

【国内大会】

※赤文字は JDBA 主催大会

- ◇4月30日(日) いさドラゴンカップ2023(鹿児島・伊佐市)後援
- ◇5月21日(日) 東京ドラゴンボート大会2023(東京・お台場海浜公園)
TDBA 主催、サンスポ特別後援
- ◇6月25日(日) 250m 測定会(高石市・大阪漕艇センター) ODBA 主催
- ◇7月16日(日) 天神祭奉納2023日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪・天満橋)★第16回アジアドラゴンボート選手権大会代表選考会
JDBA 主催、サンスポ 特別後援
- ◇8月6日(日) 第13回九頭龍ドラゴンボート大会(福井・九頭龍川)後援
- ◇8月20日(日) KIX国際交流ドラゴンボート大会(大阪泉佐野・関西国際空港)
JDBA、関西エアポート、和歌山協会主催
- ◇8月27日(日) 第11回スモールドラゴンボート日本選手権大会(滋賀・大津市)
★第16回アジアドラゴンボート選手権スモール選考会
SDBA 主催、JDBA 共催、サンスポ後援
- ◇9月10日(日) 相生龍舟フェスティバル(兵庫・相生市) NPO 相生すぽ一つ NET
- ◇9月24日(日) 第18回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会 サンスポ後援
- ◇10月22日(日) 第2回ドラゴンボート海の森オープン(東京・江東区海の森)
★第16回アジアドラゴンボート選手権選考会
TDBA 主催、JDBA 共催、サンスポ後援
- ◇10月29日(日) 第13回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ(静岡市清水区)
静岡ドラゴンボート協会主催
- ◇11月4日(土) 東大島大会(東京・江戸川区) 東京龍舟主催
- ◇11月12日(日) 宇治源平龍舟祭(京都・宇治川) KDBA 主催

【国際大会】 IDBF,ADBF,OCA,JOC など主催大会

- ◇2023年8月7-13日 第15回世界ドラゴンボート選手権大会(タイ・パタヤ)
- ◇2023年9月23日- 第19回アジア競技大会(中国・杭州) ※JDBA 派遣なし
- ◇2024年10月11-13日 第16回アジアドラゴンボート選手権大会(香港)
- ◇2024年9月3-8日 第14回 CCWC クラブクルー世界選手権(イタリア・レベンナ)
- ◇2025年7月16-20日 第16回 WDBRC 世界ドラゴンボート選手権(ドイツ・ブランデンバーク)
- ◇2026年9月-10月 第20回アジア競技大会(愛知県・名古屋市共催) ドラゴンは種目外
- ◇2027年5月 ワールドマスターズゲームズ 関西(滋賀・大津市) 関西広域、大槻市主催

【第1号議案2】 2023年度JDBA団体登録チーム(順不動)

A団体登録チーム9チーム(昨年8チーム、一昨年5チーム、3年前1チーム、4年前10チーム、5年前7チーム、6年前7チーム)

① bp(大阪)	② TOKYO DRAGON(東京)	③ すいすい丸(京都)
④ 関西龍舟シンバ(兵庫)	⑤ 東京龍舟(東京)	⑥ 磯風漕友会(兵庫)
⑦ FUJIYAMA(東京)	⑧ 沖縄龍舟(沖縄・豊見城)	⑨ 東京龍舟プラチナ(東京)

B団体登録チーム40チーム(前年21チーム、一昨年17チーム、3年前20、4年前40、5年前51、6年前54)

① すきやねん大阪(大阪)	② チーム未来(大阪)	③ 池の里 lakers!(滋賀)
④ 琵琶湖ドラゴンボートクラブ(滋賀)	⑤ team 風(大阪)	⑥ 関西龍舟バーバリアンズ(兵庫)
⑦ Team BANANA(兵庫)	⑧ ビューティープレミアム MIX(大阪)	⑨ ジャングルマニア(東京)
⑩ チーム☆ニライカナイ(東京)	⑪ 大譚村同窓会(神奈川)タ	⑫ チャイナドルチマキ新一(東京)
⑬ INO-G(埼玉)	⑭ @'S(東京)	⑮ 深川カヌー倶楽部(東京)
⑯ Roa's(千葉)	⑰ 関西龍舟ムファサ(兵庫)	⑱ IHI 瑞龍丸(東京)
⑲ Bon・Oyage(東京)	⑳ 東京龍舟ワイルド(東京)	㉑サーフだったバイザーズ(東京)
㉒ Rスポーツマンクラブ(大阪)	㉓ 吹田龍舟倶楽部(大阪)	㉔TAITAM X DRAGONS(神奈川)
㉕ 小寺製作所(滋賀)	㉖ DragonBoat Club G.P.O(滋賀)	㉗チャイナドルチマキ(東京)
㉘ フォーティーズ(大阪)	㉙ 近畿車両電龍(大阪)	㉚打艇龍舟倶楽部(大阪)
㉛ team 河童(大阪)	㉜ 龍人(滋賀)	㉝魚橋水神龍会(兵庫)
㉞ SUPER DOLPHIN(兵庫)	㉟ムーラン 新一(東京)	㊱潜海龍(広島)
㊲ うみひ(静岡)	㊳ 漕遊人(沖縄)	㊴すいすい丸 BOM-BA-YE(京都)
㊵ TOYO DRAGON マスターズ(東京)		

都道府県協会登録 12 団体

① 沖縄県ドラゴンボート協会	② 東京都ドラゴンボート協会	③ 千葉県ドラゴンボート協会
④ 静岡ドラゴンボート協会	⑤ 愛知県ドラゴンボート協会	⑥ 福井県・丸頭龍ドラゴンボート協会
⑦ 滋賀県ドラゴンボート協会	⑧ 京都府ドラゴンボート協会	⑨ 和歌山県ドラゴンボート協会
⑩ 大阪府ドラゴンボート協会	⑪ 兵庫県ドラゴンボート協会	⑫ 宮崎県ドラゴンボート協会

終身会員(五十音順)10名

伊藤健一	井上信一郎	後藤幸弘	菖蒲誠	谷達也	原田直己
前嶋清	細谷悦哉	宮村一	矢田節彦		

年度別 都道府県別A・B団体登録チーム加盟数

A、B 団体 1都2府8県・合計49チーム

県名	2023 年度 49チーム	2022 年度 36チーム	2021 年度 22 チーム	2020 年度 21チーム	2019 年度 49チーム	2018 年度 58 チーム	2017 年度 61 チーム
埼玉県	1	2	0	1	2	2	3
千葉県	1	1	1	2	0	0	0
東京都	16	13	4	6	14	16	17
神奈川	2	1	1	2	0	4	4
静岡県	1	2	1	0	1	1	2
愛知県		0	0	0	1	1	1
京都府	2	1	1	0	1	1	1
滋賀県	5	4	4	1	4	5	4
大阪府	11	7	6	8	12	18	16
兵庫県	7	4	4	0	10	7	9
和歌山	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	1	1	1
広島県	1	0	0	0	0	0	0
鳥取県	0	0	0	0	1	1	1
熊本県	0	0	0	0	1	0	1
鹿児島	0	0	0	0	1		
沖縄県	2	1	0	0	0	1	0

【第2号議案】

決算報告(承認事項) ⇒承認

事務局

2023年度 一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告

(2023年4月1日～2024年3月末まで)

(総収入)20,283,768円－(総支出)22,193,882円＋(2022年度繰越金)4,791,512円＝2,881,398円(2024年3月末時点通帳残金額)

1. 収入の部(税込)

収入項目	2023年度予算	2023年度決算	増減	内訳
1. 会費・登録料	800,000	616,000		A、団体・A個人 B 団体登録料
2. 検定料	250,000	360,000		パドル・バチ検定料
3. 主管料	400,000	250,000	海の森大会なし	びわこスモール選手権
4. JDBA HP 広告料	1,500,000	2,340,000		JDBA のHPへのサンスポバナー広告料
5. 寄付金	0	0		チーム・役員寄付金
6. 日本選手権ト ーピングくじ助成	0	0		ドーピング助成金はなくなり、実費一括分担金支払
7. 日本選手権 ・基金助成金 ・参加料 ・協賛金 ・その他(借入金)	5,000,000 4,000,000 1,000,000 2,550,000	5,492,000 4,200,000 733,000 3,200,003		日本スポーツ振興センターより基金大会助成金 日本選手権大会参加料 協賛金 本体通帳より助成通帳へ ※P17 に詳細を記載
8. 通帳間移動①	2,300,000	2,850,564		JDBA 助成通帳より戻金
9. TDBA 立替金 戻し金		225,500		5月の東京大会運送費立替
10. 雑収入	50,000	16,701		普通預金利息ほか
11. 新艇購入積立	500,000	0		CCWC 経費の助成金未入金要素があり積立せず
小計	18,350,000	20,283,768		
前年度繰越金	4,791,512	4,791,512		21年度繰越金
収入合計	23,141,512	25,075,280		

2. 支出の部(税込)

支出項目	2023 年度予算	2023 年度決算	増 減	内 訳
1. 会費	150,000	321,880		IDBF、水上安全協会、 ワールドゲームズ会費ほか
2. 宿泊交通費国内 海外旅費	30,000 150,000	228,244 148,190	アジア選手権派遣	役員国内移動交通費 海外役員派遣交通費
3. HP サイト管理料	500,000	275,000		HP管理費
税理士司法書士費	500,000	411,160		会計処理費、税金等
事務所費	200,000	245,131		事務所費
4 通信費・郵券	30,000	27,270		海外送金料振込料
5. 会場借上げ	0	0		総会会場を産経に変更
6. 消耗品・補修費	0	0		ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	30,000	23,940		関空大会打合せ
8. 地方協会分配金	70,000	248,850		東京、大阪、滋賀協会
9. ハイスピードカヌー返済	0	0		2017 年7月で終了
10ドラゴン 5 隻保管 料	472,000	450,000		大阪・南港にカバー付き で5隻保管
11選手強化費	100,000	157,080		世界選手権
12貸出金	2,500,000	3,200,000		JDBA 本通帳から助成 通帳へ移動
13貸出金返金	60,000	0		助成通帳から本通帳へ
14世界クラブカップ選 手権海外調査旅費	0	2,197,750		JTB より請求。2025 年4 月末都より 2197750 円 補填済み。次年度計上
15世界クラブカップ選 手権費用	0	311,810		現地打合せ費・手土産 代※都の補助対象外
16日本選手権大会 経費	13,000,000	13,625,003		※P17 に詳細を記載
17TDBA 運送費立替	0	225,500		東京大会運送費立替
18 税金	0	97,074		浪速税務署
19新艇購入積立金	500,000	0		来季計上予定
小計	18,292,000	22,193,882		
予備費	4,849,512	2,881,398		2023 年通帳残金額
支出 合計	23,141,512	25,075,280		

【第3号議案】

壇税理士

第15期

財 務 諸 表

自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日

〒556-8663
大阪市浪速区湊町2-1-57

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

理事長 長谷川 伸

貸借対照表

令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,185,355	4,791,512	△1,606,157
未収金	2,197,750	0	2,197,750
流動資産合計	5,383,105	4,791,512	591,593
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
船舶	8	8	0
その他固定資産合計	9	9	0
固定資産合計	9	9	0
資産合計	5,383,114	4,791,521	591,593
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	9,189	9,189	0
仮受金	100	100	0
流動負債合計	9,289	9,289	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,289	9,289	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	5,373,825	4,782,232	591,593
正味財産合計	5,373,825	4,782,232	591,593
負債及び正味財産合計	5,383,114	4,791,521	591,593

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	866,000	1,142,000	△276,000
事業収益			
事業収益	7,633,000	8,170,872	△537,872
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	2,197,750	0	2,197,750
受取民間助成金	5,492,000	4,379,000	1,113,000
受取補助金等計	7,689,750	4,379,000	3,310,750
雑収益			
受取利息	37	38	△1
雑収益	320,624	57,000	263,624
雑収益計	320,661	57,038	263,623
経常収益計	16,509,411	13,748,910	2,760,501
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	2,669,664	251,200	2,418,464
通信運搬費	94,256	82,500	11,756
消耗什器備品費	162,943	189,723	△26,780
消耗品費	157,080	14,590	142,490
印刷製本費	140,800	122,100	18,700
光熱水料費	140,616	133,920	6,696
賃借料	255,750	285,160	△29,410
保険料	90,600	90,600	0
支払負担金	369,000	277,600	91,400
支払寄付金	150,000	150,000	0
委託費	10,098,621	9,571,072	527,549
雑費	388,097	167,129	220,968
事業費計	14,717,427	11,335,594	3,381,833
管理費			
交際費	287,845	30,618	257,227
旅費交通費	33,000	37,540	△4,540
通信運搬費	4,950	520	4,430
消耗什器備品費	4,360	0	4,360
消耗品費	0	987	△987
租税公課	50,450	50,000	450
支払負担金	94,580	86,790	7,790
支払寄付金	100,000	0	100,000
委託費	395,971	392,563	3,408
雑費	229,235	107,246	121,989
管理費計	1,200,391	706,264	494,127
経常費用計	15,917,818	12,041,858	3,875,960
評価損益等調整前当期経常増減額	591,593	1,707,052	△1,115,459
当期経常増減額	591,593	1,707,052	△1,115,459
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
税引前当期一般正味財産増減額	591,593	1,707,052	△1,115,459
当期一般正味財産増減額	591,593	1,707,052	△1,115,459
一般正味財産期首残高	4,782,232	3,075,180	1,707,052
一般正味財産期末残高	5,373,825	4,782,232	591,593
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,373,825	4,782,232	591,593

第 2 号議案と正味財産増減計算書との調整表

(単位：円)

収入の部	20,283,768
東京都補助金	2,197,750
雑収益（三菱 UFJ 銀行）	303,957
通帳間移動	△3,200,000
通帳内移動	△2,850,564
立替金	△225,500
正味財産増減計算書	
経常収益計	16,509,411
支出の部	22,193,882
通帳間移動	△3,200,000
通帳内移動	△2,850,564
立替金	△225,500
源泉所得税	47,074
源泉所得税納付	△47,074
正味財産増減計算書	
経常費用計	15,917,818

※この調整表で収入と収益、支出と費用の違いを検証した結果、第 2 号議案と正味財産増減計算書の一致が確認されました

科目別減価償却資産確認表

令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月31日

(単位：円)

固定資産コード 名称	使用開始 年月日 処分 年月日	取得価額	期首帳簿価額	償却方法 償却基礎金額	耐用 年数 償却 率	償却 期間	残存簿価 (減価係数額) 償却可能残価額	減価償却費			減損損失額 過年度未償却額	当期償却額	償却累計額 期末帳簿価額	処分時帳簿価額 処分価額
								事業費	管理費	経常外費用				
【1224 什器備品】														
0000000004 ハイスピードカメラ	H26. 7.24	3,012,611	1	200%定率法 1	5年 0.400	12 12	1円	0	0	0	0	3,012,610	1	
勘定科目 合計		3,012,611	1					0	0	0	0	3,012,610	1	
【1226 船舶】														
0000000001 BLK艇	H22. 7. 1	2,553,675	3	250%定率法 3	5年 0.500	12 12	3円	0	0	0	0	2,553,672	3	
0000000002 チャンピオン艇	H24. 6.28	1,485,296	3	200%定率法 3	5年 0.400	12 12	3円	0	0	0	0	1,485,293	3	
0000000003 チャンピオン艇	H25. 6.18	1,065,376	2	200%定率法 2	5年 0.400	12 12	2円	0	0	0	0	1,065,374	2	
勘定科目 合計		5,104,347	8					0	0	0	0	5,104,339	8	

(注) 勘定科目が登録されていない減価償却資産は表示されません。

2023年度 会計監査について

【外部監査】

2023年度の一般社団法人日本ドラゴンポート協会の決算関係書類、通帳について監査したところ、いずれも正当・妥当に処理されていました。

2024年6月16日

税理士・公認会計士

田中 豪



【第4号議案】

2024年度予算(承認事項)⇒承認

事務局

2024年度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算
(2024年4月1日から2025年3月末まで)

1. 収入の部

収入項目	2023 年度決算	2024 年度予算	増 減	内 訳
1. 会費・(登録料)	616,000	800,000		A個人A・B団体会費、都道府県会費
2. 検定料	360,000	300,000		パドル検定代
3. 主管料	250,000	300,000		,琵琶湖スモール、海の森大会
4. JDBA HP 広告料	2,340,000	2,000,000		協会 HP パナー広告料サンスポ掲載料
5. チーム役員寄付	0	0		
6. 日本選手権				
・基金助成金	5,492,000	4,800,000	JSC 助成減少	2024 年くじ助成金
・参加料	4,200,000	4,200,000		44チームとして
・企業協賛金	733,000	1,000,000		大王製紙予定
・借入金	3,200,003	3,000,000		本通帳から助成通帳
・戻し金	2,850,564	2,800,000		助成通帳から本通帳
7. 東京協会立替金	225,500	0		東京大会運送費立替金
8 雑収入	16,701	10,000		普通預金利息ほか
9CCWC 立替金	0	2,190,000		CCWC 誘致調査費 東京都補助金
10, HP 改訂に伴うくじ助成金	0	1,293,000		2024JSC くじ助成
小計	20,283,768	22,693,000		
前期繰越金	4,791,512	2,881,398		前年度通帳繰越
収入 合計	25, 075, 280—	25, 574, 398—		

2. 支出の部

支出項目	2023 年度決算	2024 年度予算	増 減	内 訳
------	-----------	-----------	-----	-----

1. 会費, IDBF 登録費	321,800	300,000	IDBF、JADA 会費など
2. 旅費	228,244	200,000	役員交通費
国際委員海外旅費	148,190	150,000	海外役員
3. 事務所費	275,000 411,160 245,131	275,000 450,000 250,000	HP管理 会計処理費 事務所費
4. 通信費・郵券	27,270	30,000	振込手数料
5. 会場借上	0	0	総会会場等
6. 消耗品費	0	0	ボート修理費
7. 会議費・打合せ費	23,940	30,000	天神大会来 賓食事代ど
8. 地方協会分配金	248,850	250,000	
9. ハイスピードカメラ返済金			27年7月まで
10. 5艇保管料	450,000	450,000	5艇を大阪南 港に保管
11. 選手強化費	157,080	150,000	
12. 貸出金	3,200,000	3,500,000	助成通帳へ
13. 世界クラブカップ 選手権海外調査旅 費(東京都より)	2,197,750	0	
14. 世界クラブカップ 選手権諸経費	311,810	0	打合せ費、 手土産代など
15. 日本選手権大会経費	13,625,003	13,000,000	
16. 新艇購入積立	0	500,000	通帳間移動
17. TDBA 運送費 立替	225,500	0	
18. 税金	97,074	100,000	浪速税務署
19. HP 改訂費用	0	1,617,000	エムダブ HP 代
小計	22,193,882	21,252,000	
予備費	2,881,398	4,322,398	
合計	25,075,280—	25,574,398—	

※別通帳にドラゴン艇購入資金として 50 万円を通帳間移動する。

【第5号議案】



天神祭奉納 2023 日本国際ドラゴンボート選手権大会収支明細(7/17)

【収入明細】 10,425,000 円 (税込み)

日時	相手先	内容	金額
1	参加料収入	スタンダード [®] 12万×18=216万,11万 (シニア) ×2=22万、 スモール 7万×17=119万	4,200,000-
2	協賛企業	協賛金 (産経新聞社経由)	700,000-
3	日本スポーツ振興センター (JSC) 基金助成金	競技会開催助成金として	5,492,000-
4	日本工業技術専門学校	プログラム広告費	33,000-
小計			10,425,000-

【支出明細】 10,774,439 円 (税込み)

1	広瀬産業海運株式会社	海上施設費・曳航費	2,915,000-
2	レントサービス株式会社	陸上会場施設費	1,903,000-
3	大阪市公園事務所	南天満公園使用料	19,360-
4	大阪音響研究所	会場音響施設費	473,000-
5	明東産業株式会社	海上警備艇傭船料	880,000-
6	セフティプロモーション	陸上警備費 (ガードマン)	408,925-
7	サンケイ総合印刷	大会プログラム製作費	140,800-
8	アサコ(株)	メダル・盾製作費	151,965-
9	大翔トランスポート(株)	資材運送費 南港から桜ノ宮	93,500-
10	甲南サービス	廃棄物処理費用	99,000-
11	テレコム	無線レンタル料	90,200-
12	森本万里奈	司会・実況料	29,937-
13	NPO 法人大阪水上安全協会	八軒家浜棧橋使用料	66,000-
14	大阪水上バス(株)	大会警戒艇1隻使用料	55,000-
15	大阪キャッスルホテル	関東役員5名宿泊費	50,300-
16	東京協会 長谷川 伸	関東役員交通費2名	56,000-
17	大阪府ドラゴンボート協会	主管料	150,000-
18	天神祭渡御行事保存会	初穂料	150,000-
19	レントサービス	コロナ対策費	229,900-

20	フジサンケイイメージンター	傷害保険料	90,600-
21	大阪市公園事務所	八軒家浜公園使用料	19,360-
22	セイカセリグラフィ	検定用シール代	0-
23	ジャパンエモーション	ワイファイレンタル代	5,830-
24	大阪キャッスルホテル	会議室料（来賓室）	10,000-
25	（株）アイレス	選手シャワー（南天満公園）	157,300-
26	ニッピョウ	氷代	140,616-
27	（株）I S S E I	役員用弁当代	167,390-
28	産経新聞社	全ページ新聞特集代	990,000-
29	産経新聞立替金	傷害保険、謝礼、リッカーほか	421,996-
30	産経新聞社サンスポ	大会運営費	800,000-
31	三井住友銀行	銀行振込手数料 17件	9,460-
小計			10,774,439

※23年大会の赤字額 349,439 円はJDBAが負担。

【第6号議案】 2024年JDBA関連イベント日程（予定） 6月16日

【国内大会】 ※赤字はJDBA主催大会

- 4月28日（日）いさドラゴンカップ2024（鹿児島県伊佐市）後援
 - 5月19日（日）東京ドラゴンボート大会2024（東京・お台場）TDBA主催
 - 5月19日（日）宇治・源平・龍舟祭2024普及の部（京都・宇治市）KDBA主催
 - 7月14日（日）天神祭奉納2024日本国際ドラゴンボート選手権 兼
スモールドラゴンボート関西選手権（大阪・天満橋） ※荒天の場合は11月3日に延期
【第17回世界ドラゴンボート選手権大会 スタンダード艇選考会】JDBA主催
 - 8月31日（土）びわこペーロン
 - 9月1日（日）KIX国際交流ドラゴンボート選手権（大阪・関西空港）
KIXドラゴンボート大会実行委員会主催
 - 9月1日（日）第19回ドラゴンキッズ選手権大会
 - 9月15日（日）2024AIOI龍舟FESTIVAL（兵庫・相生市）NPO法人相生すば一つNET
 - 9月29日（日）第12回スモールドラゴンボート日本選手権（滋賀・大津市）
SDBA主催、JDBA共催、【第17回世界ドラゴンボート選手権大会 スモール選考会】
 - 10月6日（日）第11回名古屋中川運河ドラゴンボート大会 愛知県協会主催
 - 10月19日（土）20日（日）ドラゴンボート海の森オープン（東京・海の森）
【第17回世界ドラゴンボート選手権スタンダード選考会】TDBA主催、JDBA共催
 - 10月27日（日）第16回びわ湖ドラゴンボート1000m選手権大会&第10回ドラゴンボート・グランドシニア大会 SDBA主催
 - 11月3日（日）予定 小松川地区・東大島大会（東京・江戸川区）東京龍舟主催
 - 11月3日（日）天神大会予備日 JDBA主催
 - 11月10日（日）第14回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ
 - 11月10日（日）宇治・源平・龍舟祭2024 KDBA主催
- 告知情報 URL <https://www.c-sqr.net/c/sdbadragonboat/announces/7443>

【国際大会】

- 2024年10月11日～13日 HongKong 15th Asian Dragon Boat Championships
- 2024年9月3日～8日、Ravenna, Italy 14th IDBF クラブクルー世界選手権
- 2025年7月16日～20日、Brandenburg, Germany（ブランデンブルク）
17th World Dragon Boat Racing Championships ※2028年CCWC開催地決定
- 2026年（開催地未定）16th Asian Dragon Boat Championships
- 2026年（Hualien 台湾）16th IDBF クラブクルー世界選手権
- 2027年5月ワールドマスターズゲームズ*関西（関西広域行政・滋賀県・大津市主催）
- 2028年（ ? ）17th IDBF クラブクルー世界選手権

【第7号議案】 専門委員会報告

◎国際委員会 2023 年度活動報告、2024 年度活動方針

1. 海外からの問い合わせに対する対応（大会関係報告含む） 森永国際委員長
国内大会への問い合わせや日本選手権大会参加要項に関する海外チームからの問い合わせや申し込みに都度対応した。
2. 2023 年度国際大会(JDBA 対応)

日程	大会名	場所	担当者		日本選手
May.10 - 17	South East Asian Games	Phnom Penh, Cambodia	菫蒲	競技副委員長	なし
Aug.7 - 13	16th WDBC	Pattaya, Thai	菫蒲	chief judge	あり
Oct.4-6	Asian Games		菫蒲	上訴審判・競技副委員長	なし
			松尾	審判	なし
Oct.27-29	Sarawak International Dragon Boat Regatta 2023	Sarawak, Malaysia	菫蒲	競技委員長	あり

3. その他活動報告

① 2024 年 2 月 15 日（木）～18 日（日）、香港ドラゴンボート協会並びにスタンレードラゴンボート協会を訪問した。目的は、2028 年度開催を目標に日本での世界クラブカップ選手権大会誘致の実現可能性について、予算や運営面などを総合的に行っている香港ドラゴンボート協会の対応や状況等の知見を得て、今後関係者とともに検討するため。なお、参加メンバーは、長谷川 JDBA 理事長、菫蒲 JDBA 副理事長、浅岡東京ドラゴンボート協会理事長、宮澤委員、千葉 JDBA 事務局長、千葉康子委員、加えて JTB（東京）担当者 1 名。

② 2 月 27 日（火）13：00～13：40

三井住友銀行東京本部の担当者と三井住友信託銀行高槻支店支店長並びに次長のご厚意により、ズーム会議を行った。目的は、JDBA の活動に対する理解を得ることと、大規模大会を企画・実施した場合に財政面でのサポートが得られるかということであった。結果として、ドラゴンボート競技の普及度が他の競技と比べまだ低いため、現時点において実現の運びにはいたらなかった。しかし、JDBA の活動状況を紹介出来たことは意義があった。なお、参加メンバーは、谷事務総長、長谷川理事長、菫蒲副理事長、千葉事務局長。

4. 国際審判員の普及

日本ドラゴンボート協会には現在 30 名の国際審判員資格保持者がいます。国際審判員を日本において普及することは、国内における国際大会に対応できるとともに、国際選手権レベルの大会での審判経験による安定した国内大会の競技運営にもつながると考えています。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いします。

5. 今後の大会や委員会対応予定

① 国際大会

- 1) 2024年10月11日－13日：15th Asian Dragon Boat Championships（香港）
- 2) 2024年9月3－8日：14th IDBF クラブクルー世界選手権（Ravenna, Italy）
- 3) 2025年7月16－20日：17th World Dragon Boat Racing Championships（Brandenburg, Germany）

※2026年以降、JDBA ホームページでご確認ください

② 日本選手権大会関連準備

日本選手権等への海外チームからの問い合わせに対応するため、英語版大会参加要項等の準備を関係者と確認・調整を行いながら随時進めていく。

◎強化委員会 2023年活動報告及び2024年活動計画

JDBA 強化委員 半田、河田、楡木、高橋

<2023年活動報告>

第16回 IDBF 世界選手権（パタヤ・タイ）には以下の代表チームの派遣を行いました。戦績については23年8月末に公開された報告書をご参照ください。プレミアスモールオープン及び、シニア B スモールオープンでグランドファイナル進出を果たすことができましたが、各国の競技レベルアップもめざましく、継続的な国際大会への参加と競技力向上が必要です。

【スタンダードボート】

プレミア混合；東京龍舟

シニアオープン；東京龍舟

【スモールボート】

プレミアオープン；b p

プレミア女子；日本代表選抜

プレミア混合；東京龍舟

シニアオープン；東京龍舟

<2024年度活動計画>

第15回 ADBF アジアドラゴンボート選手権大会（香港/中国）には以下の代表チームを派遣いたします。残念ながら、海の森大会の前週ということもあり、今回のアジア選手権には1チームのみの参加となります。

日時；2024年10月9～14日 場所；香港/中国

【スモールボート】

プレミアオープン；磯風漕友会

＜2025年度国際大会日本代表チーム選考について＞

すでに2024年度日本選手権の大会要項にあるように2025年度の代表チーム選考は本年7月の日本選手権及び10月の海の森オープンでの成績により決定いたします。日本代表の活動は各チームの選手強化の活動に依存しており、現時点では代表を獲得したチームが中心となって他チームの選手を含めて選抜、強化をしていく方式がベストと考えています。

2024年度アジア選手権への出場は1チームのみで、多種目での参加が実現できませんでした。これは国内選考会のスケジュール設定に問題がありました。来年の世界選手権は7月中旬の開催となり、同じくスケジュール設定には課題が残りますが、継続的に国際大会にチームを派遣して、戦績を積み上げていくこと目標としていきます。

以上

◎2023 年度活動報告並びに 2024 年度活動方針

法制営業委員会委員長 利波敏行

【2023 年度活動報告】

■活動報告 ・国際大会誘致活動計画（企画素案作成） 2月の臨時理事会で議題に上がった東京都港湾局から東京協会への打診事項「オリンピック・パラリンピック 2020 東京」のレガシー及び会場施設の有効利用／国際大会の誘致促進。（海の森公園内水上競技場）の件。理事長にも相談打診し、2026年開催で「国際クラブカップ選手権」誘致の企画素案を制作。国際担当の菖蒲副理事長には、IDBFに対する費用（主管料、審判の謝など）は打ち合わせし、ヒアリングの上 勘定費目として設定。なお、競技以外の大会運営面の費目については、イベント会社としての立場で想定。取引のある国内のグローバル企業には、代理店を経由して、企画打診。年度内では現状、大きな進展はなし。次年度引き続きの業務。

・WMG 関西 2027 の動向 キックオフミーティングが2023年5月に大阪市内にて開催。大会全体のプロモーションは IMGGA 協力の元、今後海外でも展開される模様。ドラゴンボート競技も、2017年のニュージーランド・オークランド大会で採用されて以降、2025年の台湾・台北でも実施決定となり、今後WMGのレギュラー種目として定着すれば、熱を帯びてくるものと推察される。次年度以降 組織委員会の動向を見ながら、協会内部でも検証する動きとした。次年度引き続きの業務。

【2024 年度活動方針】 ■活動方針について ・国際大会誘致計画（世界クラブカップ選手権） 2028 年大会の誘致として、企画案を更新し事務局へ提出。 2月の香港協会などとの会議・調査～報告などを踏まえて、内容など精査し、企画案、協賛社候補など への打診を行う。 国際統括 菖蒲副理事長とも連携し、I D B Fの動向調査も行う。 ・WMG2027について 3年前イベントして、大阪市内でセミナー開催。 今後のプロモーション活動の情報収集を行う。 ・日本選手権の協賛企業のアプローチ活動をサンケイスポーツと連携して行う。

以上

◎医事委員会・アンチドーピング委員会報告（資料）

医事・アンチドーピング委員長
原田 外科・整形外科
原田 直己

A: 医務委員会

これまで 医務委員会が 前面に出て事務処理をしなくてはならない事態にならなかったことは協会各部門スタッフ・選手・協力者の皆様の水上スポーツに対する意識とご協力の賜物と感謝しております

今後ともこれまでどおりのご協力・ご支援をお願いいたします

医務委員会の基本的な仕事は ドラゴンボート競技を安全で楽しいスポーツとして維持・継続して行くために協会内の各部門と協力・調整してゆくことです。

具体的には 選手の健康管理・フローティングベストの着用・艇転覆時のためのバディシステムや 強風時の競技中止の規定など 競技規則にほぼ採用されており実効を上げています

今後 何か 選手・スタッフ・支援の方で 競技・練習を続けてゆく上で気になることがありましたら 遠慮なく医務委員会までご相談・ご連絡をお願いいたします

競技・練習などでの事故がないことが 医務委員会ひいては **JDBA** にとって 最大の幸せです

B: アンチ・ドーピング委員会

以前は ドーピング検査を大川で実施してきましたが **JADA** の方針転換により検査からアンチ・ドーピング教育に 軸足が置かれるようになりましたので 今後 大会前講習会のみでなく各チームに出向いての講習会も企画して行きたいと考えております

◎2024年審判委員会からの報告

審判委員長：高橋裕嗣

- ・新たにC級審判1名（ODBAより）合格
- ・C級からB級に1名（ODBAより）進級
- ・C級からB級に1名（事務局より）進級

◎科学技術委員会の23年度振り返りと24年度方針

報告者：後藤幸弘・松田光弘・田中譲・越智祐光

2023年度報告

- (1) 2023年度の日本国際ドラゴンボート選手権におけるスモールレースの速度・ピッチ・ストローク長の関係をGPSシステムを用いて検討した。
- (2) 第11回スモールドラゴンボート日本選手権大会（びわ湖）における速度・ピッチ・ストローク長の関係をGPSシステムを用いて検討した。

	琵琶湖	大川
最高速度付近5ストロークの平均速度	3.88	4.084
ゴール付近10ストロークの平均速度	3.54	3.62

また、スタンダード艇を10人のパドラーで漕ぐスモールとスタンダード艇オープンの記録比は、過去10年間の平均で $87.2 \pm 5.85\%$ であった。

2024年度方針

- ①2023.3月に行われた女子選抜合宿と2019年の男子選抜合宿の50m一人漕ぎデータから代表選抜の指針を検討する。
- ②「ドラゴンボートの科学」作成に向けて関連する研究資料の収集・調査を行う。
- ③2023年度に続き、日本選手権における10乗りレースと第12回スモールドラゴンボート日本選手権大会（びわ湖）における速度・ピッチ・ストローク長の関係をGPSシステムを用いて検討する。

2023 年度理事会・総会:普及広報委員会活動報告

2024 年 5 月 28 日

普及広報委員会 委員長 合田 靖海

2023 年度総括

・日本選手権はじめ、特派員方式による、各大会の取材投稿を行っていく
→「相生龍舟フェスティバル 2023」の訪問。参加チームとの交流各地方大会イベントの情報共有のため

の関係性作り。沖縄豊見城市観光協会訪問。糸満ハーレー訪問

・各委員会との連携で、普及広報活動を促進して行きたいと考えています

・ホームページリニューアルに向けての活動、エムダブ森岡氏を中心に、長谷川理事長、谷事務総長、菖蒲副理事長、千葉事務局長、合田普及広報委員長(順不同)で協議作業分担し推進

Facebook JDDBA ページへの投稿

●8 月タイパタヤ開催 ドラゴンボート世界選手権

・参加選手と連携し、レース速報と写真をほぼタイムリーに掲載

●11 月グアム開催 サンクスギビング ドラゴンボートフェスティバル

・現地から、チーム、国籍、世代を超えた合同チームでの参加の様子をタイムリーに掲載

【アクセス状況】

◆協会公式サイト

2022 年度訪問者数:37,000 人

2023 年度訪問者数:38,000 人

◆JDDBA 公式 Facebook ページ

2022 年度フォロワー 1,830 人

2023 年度フォロワー 1,953 人

2024 年度の活動方針

・日本選手権はじめ、特派員方式による、各大会の取材投稿を行っていく
・各委員会との連携で、普及広報活動を促進して行きたいと考えています
・地域の団体・チームとの交流

・JDDBA のホームページの全面改訂経費について

改訂理由：既存 HP の老朽化

経費：1,617,000 円 ※2024 年くじ助成金として：1,293,000 円 7 月に入金予定

※差額の **324,000 円**については JDDBA が負担。

・JDDBA の「理念」について (JDDBA ホームページ掲載用)：

作成委員：後藤副会長、櫻井副会長、長谷川理事長、菖蒲副理事長の 4 名

2023年安全委員会報告、2024年方針

安全委員長 山脇 秀錬

2023年度報告

ドラゴンボート安全講習会を2024年3月24日に、滋賀県大津市のオーバル会議室にて、セーフティアドバイザーの伊藤裕樹氏を講師に招いておこなった。

グループワークや様々な事例をあげての講義により、ドラゴンボートの練習や大会における安全対策について、学び考える良い機会になった。

* 講義の中で、低体温症への対応の話があった。2023年度、琵琶湖ではカヌーやバスフィッシングで低体温症による死亡事故が発生しており、ドラゴンボートの冬季の練習では、水中に落ちた場合の素早い救助が必須になるということであった。救命胴衣を着用していても水温の3倍の時間（水温10度なら30分）が救助の目安になる。

2024年度計画について

ドラゴンボート安全講習会 実技講習 の開催

実技講習 転覆時の対応の実技練習

救助の実技（救助の仕方・され方）

転覆からの乗り込み 水出し

* ドラゴンボートの特性を良く理解し、緊急時の手順をシミュレーションする。

【第8号議案】その他

① 2024 日本選手権における JDBA 理事 15 名への役員謝金（1 日 2000 円）
支払いについて（理事会・総会承認事項）⇒承認

2024 年開催予定の日本ドラゴンボート選手権大会の競技役員として参加する JDBA 理事 15 名に対して、謝金として 1 人 2000 円を支払う件。

② 「競技規則」の変更について（理事会・承認事項）⇒承認
（現行競技規則）

第34条 安全対策 (Safety measures) 1 艇には浮力体を装備し、全員フローティングベストを着用（追記）しなければならない。 2 レースに出場する選手は、レース時の服装で 100m以上の泳力を必要とする。 3 ジュニア種目に出場する選手は、常時フローティングベストを着用しなければならない。 4 チーム安全管理者（代表、監督、主将）は、本条2、に留意し、実行委員会に責任を持つ旨を誓約しなければならない（監督会議時に誓約書を提出しなければならない。艇が事故等により転覆した場合、選手は艇のそばを離れず、パドルを離さないよう気をつけ、救命艇を待つこと。その指 示もクルーの安全主任（舵

取り、ドラマー)が責任を持って行わなければならない。12 5 フローティングベストとは、常時7kg以上の浮力があり小型船舶用救命胴衣の基準を満たしているものとする。使用基準として、浮力は、7kg以上のフローティングベストしか使用してはならない。格納型(自動膨張式・手動膨張式)の使用は認める。ウエストベルト式のフローティングベストの使用は一切認めない。着用義務に反するチームは、そのレースの最下位となる場合がある。6 競技に出場する選手は、酒気帯びによる乗艇を禁止する。同日開始前から競技終了まで飲酒は厳禁とする。また、クルーの一人が飲酒した場合も、当該チームは失格となる。

(改定案)

第34条 安全対策(Safety measures)

- 1 艇の構造は気室等があり十分な浮力があるものとする。
- 2 乗艇するクルー全員はフローティングベストを着用しなければならない。
- 3 レースに出場する選手は、レース時の服装で100m以上の泳力を必要とする。
- 4 チーム安全管理者(代表、監督、主将)は、本条3、に留意し、実行委員会に責任を持つ旨を誓約しなければならない。

(監督会議時に誓約書を提出しなければならない。)艇が事故等により転覆した場合、選手は艇のそばを離れず、パドルを離さないよう気をつけ、救命艇を待つこと。

その指示もクルーの安全主任(舵取り、ドラマー)が責任を持って行わなければならない。

- 5 フローティングベストの構造・形状は、ベストタイプ(固型式)、膨張式(自動膨張式・手動膨張式)とし、ウエストベルト式の使用は認めない。

フローティングベストの浮力は7kg以上あるものとする。

着用義務に反するチームは、そのレースの最下位となる場合がある。

- 6 競技に出場する選手は、酒気帯びによる乗艇を禁止する。同日開始前から競技終了まで飲酒は厳禁とする。

また、クルーの一人が飲酒した場合も、当該チームは失格とする。

よろしくお願いいたします。

- ③ 日本選手権スタート地点・コースビデオカメラの設置について(競技委員会より)
フライング防止及びコース侵害判定の参考として、ビデオカメラ導入を新たに行います。

- ④ 個人会員制度の変更について(長谷川理事長)

理事会で審議した結果、詳細を再検討することとなり、本総会での提案をいったん取り下げました。あらためて理事会で審議することを報告。

⑤ 香港視察報告（長谷川理事長より）（**理事会審議事項**）

→2028CCWC への参加表明の可否について、収支赤字の場合の理事の財政負担について、

⑥ 2024 年海外大会参加チーム（国際委員会・強化委員会より）

【日本代表海外大会】

・アジアドラゴンボート選手権（10月・香港）「日本代表チーム」スモール参加

【理事会海外参加承認済み大会】

※理事会承認海外大会についてはチーム代表者が所定の申請用紙に必要な記入し、毎年事務局に提出し、理事会の承認を得て大会に出場すること。招待大会については基本1チーム1大会。

・香港龍舟祭（6月・香港）「東京龍舟」

・サラワクドラゴンボートレース（10月24-27日・マレーシアクチン）「Lake Biwa」

・2024 グアムドラゴンボートフェスティバル（11月15-18日・グアム）「TAITAM X DRAGONS」

⑦ 2025 年日本国際ドラゴンボート選手権大会の開催時期の変更について⇒**理事会で承認**

（現状）

・2025 年 4 月 13 日から 10 月 13 日まで大阪関西万博開催の為、コース上の航行、する船舶の増加と八軒家浜棧橋使用船舶の増加が予想される。

・関西万博に伴い宿泊ホテルの高騰と予約の困難さが予想される

・世界 DB 選手権大会が 7 月 16-20 日にドイツで開催される

⇒以上の点から **11 月 2 日（日）** に延期する方向で調整する（事務局）

(参考)

⑧ 2023年6月－2025年5月末 JDBA 役員体制 ※昨年度承認済

◎会長	松川るい
◎筆頭副会長	矢田節彦
副会長	櫻井顕一（代表理事）
副会長	後藤幸弘（理事）
副会長	細谷悦哉
◎理事長	長谷川伸（代表理事・競技委員長）
◎副理事長	菖蒲誠（代表理事・国際統括・ADBF 常務理事）
◎常任理事	鎌田敦士（用器具統括）
常任理事	原田直己（医事委員長）
常任理事	木村一郎（普及副委員長）
常任理事	森永裕幸（国際委員長）
常任理事	半田佳彦（強化委員長）
常任理事	楡木栄次郎（強化委員会オープン・混合担当う）
◎理事	後藤幸弘（科学技術委員長）
理事	宮村一（評議委員長）
理事	合田靖海（広報普及委員長）
理事	山脇秀錬（安全委員長）
理事	石川平明（用器具委員長）
理事	利波敏行（営業法制委員長）
理事	松尾由佳（国際担当）
◎事務総長	谷達也（国内統括）
事務局長	千葉晋史
事務局次長	清水基央
◎相談役	竹末佳紀
◎各専門委員会	
競技委員長	長谷川伸
強化委員長	半田佳彦
評議委員長	宮村一
審判委員長	高橋裕嗣
安全委員長	山脇秀錬
セーフティアドバイザー	伊藤裕樹
国際委員長	森永裕幸

用器具委員長	石川平明
法制営業委員長	利波敏行
普及広報委員長	合田靖海
医事委員長	原田直己
アンチドーピング委員長	原田直己
科学技術委員長	後藤幸弘
◎委員	村野智子（総務部長）
委員	野尻恵子（国際委員）
委員	河田英幸（強化委員会女子担当）
委員	山脇秀錬（評議委員会副委員長）
委員	岩城耕一（評議委員会副委員長）
委員	高橋冬扇（評議委員会副委員長）
委員	池田和也（用器具委員会副委員長）
委員	松田光弘（科学技術委員会副委員長）大阪産大 田中譲、村田和隆、越智祐光、灘本雅一、嶋田愛
委員	杉浦 丈仁（たけひと）・森薬局管理薬剤師 （医事厚生委員会スポーツファーマシスト） ※選手の薬の質問は この方にご相談
委員	丸山春海（普及委員会担当）
◎外部会計監査	田中豪（会計監査）

※定款では理事は4人以上、18人まで。（JDBA定款「第17条 理事の員数」）

一般社団法人日本ドラゴンボート協会理事会議事録

◇令和6年6月16日 午前10時00分から13時45分

◇出席・委任理事（敬称略）15人

議長代表理事：長谷川伸

（議事録）

- ・2023年度の決算報告について理事会で承認された
- ・2024年度の予算計画について理事会で承認された
- ・2024年日本国際ドラゴンボート選手権大会において理事15名に対して1人2千円の謝金を支払うことを理事会で承認された
- ・競技規則34条の「安全対策」を改定することを理事会で承認された
- ・2024年海外参加チーム4チームについて理事会で承認された
- ・2025年日本国際ドラゴンボート選手権大会開催日程の変更について理事会で承認された

一般社団法人日本ドラゴンボート協会定時社員総会議事録

◇日時 令和6年6月16日 午後2時から午後3時45分

◇場所 大阪市浪速区湊町二丁目1番57号

株式会社産業経済新聞社大阪本社8階

◇出席者①議決権のある社員総数（理事、終身会員、チーム）55名

◇議長 長谷川伸日本ドラゴンボート協会理事長

（議事録）

- ・2023年度の決算報告について総会で承認された
- ・2024年度の予算計画について総会会で承認された
- ・2024年日本国際ドラゴンボート選手権大会において理事15名に対して1人2千円の謝金を支払うことを総会会で承認された

令和6年6月17日

一般社団法人日本ドラゴンボート協会理事会・定時社員総会

議長代理理事兼議事録作成者

長谷川 伸 印